

平成20年度 施政方針に対する質疑

～～代表7名の議員が質疑～～

定例会第1日（2月13日）の本会議において、市長から平成20年度施政方針が表明され、定例会第2日（2月18日）の本会議において、施政方針に対する質疑を行いました。

質疑の要旨は次のとおりです。

企業立地の促進

創政会 山谷 清

〔質問〕地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律が施行された。

既存企業へのサポートを行い産業の振興、雇用の拡大を図るとあるが、本市から企業撤退があつたが市長としてどのように思われたのか、また県内外にトップセールスとしてどのような対応をしたのか伺いたい。

〔答弁〕長年本市の誘致企業として貢献してきた4つの企業が、諸事情により閉鎖等を余儀なくされたことは非常に残念でならない。

このような状況から、既存企業の工場増設の機運を高め、本市産業の振興と雇用の創出が図られることを促すため、企業立地促進条例の一部改正を行う。

トップセールスについて、首都圏において開催される企業立地セミナー等に参加し、企業関係者等との交流と本市の魅力のPRに努めていると

ころであり、今後も積極的に企業誘致活動を展開してまいりたい。

南三陸町交流

市民会 小川 正人

〔質問〕南三陸町となぜ交流を推進しようとするのか。

交流を推進しようとするにあたり、白石市民は何を得、相手町民には何を与えられるのか伺いたい。

南三陸町には私達の市にない海がある。南三陸時間旅行ということで体験メニューが百を超す。市民と小中学生に南三陸町の『汐風』を食べさせてほしい。

〔答弁〕海のない白石市民が磯の香りに接することはできないものかと思つたときに、県内の首長会議があり、たまたま隣に座つたのが南三陸の町長で、その問いかけをしたところ、逆に町長も、スキー場があつたり温泉があつたり、日帰り交流できる市町村を探していた。

その話が合致して、新春対談を行ったところである。

白石市民が南三陸町に行つた場合、まず漁業、特に南三陸町はカキの養殖の体験ができる。

また、ダイビングについては、海の中にも四季があることを感じ取れるすばらしさを持つている。

南三陸町の皆さんが白石に来たときには、スキーを体験していただきながら、温泉と、白石が持つ歴史を体験できると思つている。

「みやぎっこ子育て 家庭応援事業」の 今後県などとの連携 について

政和会 制野 敬一

〔質問〕子育てサポート支援に関連した「みやぎっこ子育て家庭応援事業」について県が主体となつて平成20年度からスタートするこの事業をどのように連携し、運営しようとしているのか。

また、市内の店舗、事業所等の協賛、参画をどのように行おうとしているのか、具体